

建設の機械化

1990.3

No.481



◆巻頭言 正念場を迎えた関西国際空港の建設……………井上春夫 1

◆特集：関西国際空港建設工事

関西国際空港の計画・建設の概要……………	山本修司	3
空港島建設工事……………	尾崎正明	10
空港連絡橋工事……………	水本良則	15
空港島護岸工事における機械化施工……………	遠藤博	19

グラビヤ——関西国際空港建設工事

埋立土砂の採取事業

1. 阪南丘陵土砂採取事業……………	谷口光臣	25
2. 和歌山県加太開発計画に係る土砂採取事業 ——関西国際空港埋立用土砂の供給の現状（第二報） ……………	堀内洋	33

空港施設計画……………船越晴世 41

りんくうタウン整備計画……………片岡孝 46

和歌山県加太開発計画に係る

土砂採取工事管理システム……………北野武夫・石田武光 50

◆随想 石器時代と現代……………岡村宏 55

土圧シールド施工管理エキスパートシステムの開発

……………野沢有・佐藤俊男・西野憲明 57

ドーバー海峡トンネルフランス陸側トンネルについて

……………広川宏・三浦正昭 62



◆新工法紹介	
ハイロックドリル工法	調査部会 70
傾斜面舗装システム	調査部会 71
クラッシングセパレータ工法	調査部会 72
リサイクルブレーカ	調査部会 73
◆新機種ニュース	調査部会 74
◆文献調査	
インパクトリッパと大型ドーザによる掘削作業の促進	文献調査委員会 80
コンベヤのメンテナンスをらくにする	
自動調整式ベルトクリーナ	文献調査委員会 81
◆整備技術	
整備用機器 (第10回)	
高速部分メッキによる現場再生補修技術	整備部会 82
◆統計	
建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 87
行事一覧	88
編集後記	(酒井・金子・穴見) 90

◇表紙写真説明◇

CAT 785 ダンプトラック

新キャタピラー三菱株式会社

CAT 785 は「優れた走行性能」「高い信頼性、耐久性」「簡単な操作」「容易な保守・点検」の設計思想を基本として開発された超大型ダンプトラックである。

出力1,308 PS の粘り強く信頼性の高いエンジン、電子制御のフルオートマチックトランスミッション、最大積載量136tの頑丈で荷こぼれが少ない荷

台などにより、高速大量運搬作業でも高い性能を発揮するとともに独自のサスペンションや豪華なキャビンは快適な運転性を生み出している。

＜主な仕様＞

最大積載量	136 t
荷台容最 (平積/山積)	64/84 m ³
空車重量	94,550 kg
定格出力	1,308 PS
最高速度	58 km/hr
最小旋回半径 (最外側)	15.3 m
荷台上縁高さ	2,335 mm